

# 米沢興譲館高校SSH通信

## 2 学年探究科国際交流研修②

令和3年12月9日(木)～10日(金) 1泊2日の日程で、第2学年探究科生徒(76名【理探54名・国探22名】)が筑波への研修旅行を行った。サイバーダインスタジオ、防災科学技術研究所、JICA筑波国際センター、予科練平和祈念館、JAXA宇宙センター、ジーンバンク、高エネルギー加速器研究機構、防災科学技術研究所、サイエンススクエアつくば、地質標本館、筑波実験植物園の施設を5コースに分かれ研修を行った。つくば研究支援センターにて卒業生(国土交通省職員)との交流も行った。日常触れる機会のない方の講話や施設の見学を通して、自らの将来や生き方について考える機会となった。

### 探究科国際筑波研修を振り返って

2年理数探究科 男子

12月9日,10日の2日間、我々探究科2年生は筑波へ研修に行き様々な施設を巡り、幾つもの貴重な体験をした。サイバーダインスタジオでは、将来日本の医療の要となるような人間の意思に沿って動く関節の動作のサポートをするロボット、言わばサイボーグを見せていただき、物質材料研究機構では、ロケットや電車などの事故の原因を調べ、それに材料によるものが含まれていないかを調査する過程を見せていただいた。さらにそこではギネスブックに載るような材料の耐久性についての研究も行っており驚いた。また高エネルギー加速器研究機構、通称KEKでは世界最強の加速器SuperKEKBを見せていただき、防災科学技術研究所では巨大な耐震実験施設や豪雨再現装置を見せていただき、さらにコミカルなショーのような形で雪崩、液状化、共振の仕組みについて説明していただいた。

知らなかったことがほとんどだったため、今回の研修は学びの多いものとなった。今我々が行っている研究と重なる部分もあったためしっかり復習をし、機会があればもう一度行って今回見れなかったところを見学してみたい。

### JAXA・GENEBANKの見学を通して

2年理数探究科 女子

JAXAには実寸大のISSや宇宙ロケットがあり、様々な体験をすることができました。展示館ではISSで最大の実験棟「きぼう」の中に入ることができ、そこでは日本の今までの宇宙飛行士のサインを見ることができました。また、JAXAには「宇宙兄弟」で使用された場所もあり、見る事ができました。今回、JAXAでたくさんものを見ることができたため行ってよかったと思います。

また、私はSSHの実験で菌や微生物の研究を行っているため、GENEBANKへ行きました。当日見学することができたのは植物遺伝資源についてのものでした。植物の種子の保存方法や世界の植物について教えていただくことができました。植物についての担当者の熱意が感じられ、この分野の素晴らしさがわかりました。植物についてたくさん話を聞くことができ、とても有意義な時間を過ごすことができました。今回学んだことをSSHなどに活かしていきたいと思います。



### 今の学びが役立つ時

2年国際探究科 男子

探究科国際交流研修、筑波研修で私たちはお互いの理解を深めると共に異文化、自国の文化に触れることができた。日本のSDGs達成状況や太平洋戦争中の訓練生たちの暮らしは海外研修では得ることができなかったと思う。印象的だったのは永遠瑠マリルイズさんのルワンダ内戦についての講話だ。永遠瑠さんは日本語を勉強していたおかげで難民キャンプで患者の症状を正確に通訳することができ人々の命を救うことができたという。内戦という状況であっても学びは役に立つのだと思った。

また、地質標本館では教科書上の物が目の前にあったり、国土交通省の手塚寛之さんの講話では以前登った万世大路のお話があったり、JICAでも小学校で行ったものと同じゲームをしたりした。このように私は研修から過去の学びを活かす大切さを実感した。そして、永遠瑠さんのように私たちが研修で学んだことや今日興譲館で学んでいることを活かす時が来ると思う。

